

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20						自動精算機システム	
20	1					基本要件	
20	1	1				通信及び接続の条件に関し、以下の要件を満たすこと	
20	1	1	1			当センターの医事会計システムと診療費自動精算機（以下 自動精算機）をTCP/IP方式でLAN接続し、ソケット通信で送受信が行えること。	○
20	1	1	2			接続方法は各精算機がそれぞれ、医事会計システムと直接通信する仕組みをとり、障害発生時に一斉ダウンしない仕組みであること（管理サーバ経由でないこと）。	○
20	1	1	3			自動精算機本体に、診察券（磁気カード・JISⅡ型）の挿入、バーコードをかざすことにより、自動精算機の画面に当該患者の請求金額を表示できること。	○
20	1	1	4			自動精算機に請求額が入金されることにより、医事会計システムの未収情報を入金済みにできること	○
20	1	1	5			収納を制限する情報を医事会計システムより受取り、収納を制限できること。また、その旨の内容を表示できること	○
20	1	1	6			自動精算機に請求額が入金されることにより、領収書、診療明細書、予約券、薬引換券が発行できること。	○
20	1	2				自動精算機本体に関し、以下の要件を満たすこと	
20	1	2	1			操作ガイダンス機能があり、利用者が任意で日本語／英語／中国語（繁体字・簡体字）／韓国語／ポルトガル語／ベトナム語に切替えができること	○
20	1	2	2			機器本体サイズは現状の設定環境を考慮し、650(W)×890(D)×1550(H)以内とすること※突起物除く	○
20	1	2	3			省電力対策として人体センサー機能、操作補助用として本体前面に手すりがあること。	○
20	1	2	4			LEDによる操作誘導と音声ガイダンスを標準装備していること。	○
20	1	2	5			つり銭切れ、用紙切れ、その他の異常を感知する機能を備えていること。	○
20	1	2	6			診察券／領収書／診療明細書／つり銭紙幣／つり銭硬貨の排出時は、完全に抜き取られるまで、センサー検知を行い警告音を発生できること。	○
20	1	2	7			つり銭硬貨「1枚」の取忘れであってもセンサー検知し警告音を発生できること。また、警告後は自動精算機の機内に自動回収し監視モニターに通知すること。	○
20	1	2	8			領収書／診療明細書の取忘れは、残1枚の取忘れでもあってもセンサー検知し警告音を発生できること。複数枚出力時でも同様であること。	○
20	1	2	9			カード（診察券、クレジット・キャッシュカード）を取忘れた際は、任意の設定時間経過後に回収BOX(個人情報保護の為、鍵付きBOX)へ取込む機能を有していること。	○
20	1	2	10			その際は休止することなく次の取引が行えること。回収したカードがある場合は監視モニターに通知すること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20	1	2	11			本体扉を開けたまま、エラー解除が行えるように、患者様の操作画面の他に、係員専用の操作画面があること（患者様用と職員用に2画面あること）。	○
20	1	2	12			領収書、診療明細書発行以外の機能として80mm幅のサーマルプリンタを装備し、以下の帳票を機器本体から自動出力できること。	○
20	1	2	13			・クレジットカード利用明細書の発行／デビットカード口座引落確認書の発行／カード決済取消に関する利用明細書の発行（患者／医療機関に各1枚）	○
20	1	2	14			・現金装填（一部補充）、現金回収（一部回収）、両替等の現金に関する処理を行った際の履歴発行	○
20	1	2	15			エラー発生時は、詳細な解除ガイダンスによる誘導画面がでること。	○
20	1	2	16			支払い完了時は機器本体画面または監視モニターで取引結果を印刷して患者に説明できること。支払い未完了の場合でも、機器本体画面で貨幣投入状況等の内容を表示し、患者に画面上で説明できること。	○
20	1	2	17			紙幣・硬貨詰りの際は、エラー解除画面にて患者の現金と病院の現金を明確に区分できる案内が可能であり、かつ、紙幣・硬貨の金種情報別に画面表示する機能を有していること。	○
20	1	2	18			係員操作時は、ID、パスワードによる利用者認証を行い、利用者権限により操作を制限できること。また、係員の操作履歴を管理できること。	○
20	1	2	19			貨幣両替機能があること。	○
20	1	2	20			現金を扱わないカード専用機として利用でき、当センターが任意に切替操作できること。	○
20	1	2	21			本体電源及び、取扱時間、再起動時間、カード決済運用切替時間のタイマースケジュール設定ができること。また、タイマースケジュールは、自動精算機本体と監視モニターのどちらでも設定できること。	○
20	1	2	22			定期的な更新を必要としないホワイトリスト方式のウィルス対策ソフトを搭載していること。	○
20	1	2	23			日常業務（現金装填・回収、領収書準備等）について、前扉運用にて操作ができること。	○
20	1	2	24			操作画面が左右から見えないように、サイドパーテーションがあること。	○
20	1	2	25			停電時に取引データの破損を防ぐためバッテリーを内蔵していること。	○
20	1	2	26			係員呼出ボタンは専用配線不要で対応できること。	○
20	1	2	27			アンカー固定不要で設置できること（設置環境によりアンカー固定対応も行えること）。	○
20	1	3				自動精算機の画面表示機能に関し、以下の要件を満たすこと。	
20	1	3	1			15インチ以上のTFTカラー液晶タッチパネルディスプレイであること。	○
20	1	3	2			左右側面30度以上の角度からは画面が見えないプライバシー対応モニターであること。	○
20	1	3	3			利用者が任意で外国語表示（日本語／英語／中国語（繁体字・簡体字／韓国語／ポルトガル語／ベトナム語）に切替できること。また、外国語表示終了後は自動で日本語表示に切り替わること。	○

別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20	1	3	4			医事会計システムから送信される情報により患者氏名、受診年月日、診療科名、請求額（受診日・受診科毎）、請求額合計が画面に表示できること。	○
20	1	3	5			受診年月日、診療科名及び請求額は、画面操作にて診療科明細の表示、非表示の切替えが可能なこと。	○
20	1	3	6			支払方法の選択はクレジットカード、デビットカード払いを利用する場合のみ発生すること。（現金払いの場合は操作不要であること。）	○
20	1	3	7			プライバシーを考慮して、患者ご自身の体で、お名前、診療科が後ろから見えない画面配置を採用していること。	○
20	1	3	8			高齢者対応として、年齢を識別して事前に設定した年齢に応じた音声速度、ガイダンス音量を自動調整する年齢識別機能があること。	○
20	1	3	9			入金確認ボタン対応／入金オートスタート対応のどちらでも選択でき、運用後の変更が可能なこと。	○
20	1	4				自動精算機の金銭処理部に關し、以下の要件を満たすこと。	
20	1	4	1			貨幣識別レベルは、金融機関レベルの識別基準で偽装紙幣や偽造硬貨、外貨の収納を防止できること。また、硬貨の識別に「画像センサー」を内蔵していること。	○
20	1	4	2			紙幣硬貨ともに、入金、出金時どちらの動作時も真偽判定する機能があること。	○
20	1	4	3			入金処理は、以下の金種以上の取扱いができること。 ・紙幣 全金種（一万円、五千元、二千元、千元） ・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）	○
20	1	4	4			入金方法は入院支払いにも対応する為、一度の投入で「紙幣100枚以上」、「硬貨100枚以上」の一括混在投入ができること。	○
20	1	4	5			紙幣入金口は異物投入対策や、投入時エラー対策、操作性を考慮し、長手一括取込み方式を採用していること。	○
20	1	4	6			紙幣入金口にはブロッカー等により開口を狭めることで紙幣入金口は異物投入対策や投入時エラー対策が可能であり、かつ補充時には開口を広げることで大量補充が可能なこと。	○
20	1	4	7			紙幣取込み速度は「毎秒5枚以上」の高速取込みであること。	○
20	1	4	8			出金処理は、以下の金種以上の取扱いができること。 ・紙幣 3金種（一万円、五千元、千元） ・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）	○
20	1	4	9			硬貨入金口は取忘れ対策と操作性を考慮し、同一箇所から入出金すること（上半身より上に配置し無理のない姿勢で取り出せること）。	○
20	1	4	10			出金方法は、紙幣10枚以上（連続出金可能）、硬貨50枚以上（混合一括出金）ができること。	○
20	1	4	11			紙幣収納枚数は、金種混在で合計1,700枚以上であること。	○
20	1	4	12			硬貨収納枚数は、金種混在で合計2,800枚以上であること。	○
20	1	4	13			硬貨収納枚数は、金種毎に固定された収納枚数ではなく、最大収納枚数内でフレキシブルに収納、入出金可能なこと。	○
20	1	4	14			入金金額の一時保留機能があり、投入現金の現物返却ができること（紙幣・硬貨ともに、それぞれ100枚保留できること）。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20	1	4	15			硬貨投入口に異物が投入された際は、機器本体下部にある異物排除BOXに自動排除し、機器本体画面で異物返却があることを患者に通知すること。また、取忘れないよう誘導すること。	○
20	1	4	16			紙幣装填・補充は投入口から混合一括計数装填（混合一括100枚、毎秒5枚）できること。	○
20	1	4	17			硬貨装填・補充は機内にセットした硬貨カセット（鍵付き）から混合一括自動計数装填できること。また投入口から混合一括自動計数装填もできること（混合一括100枚）	○
20	1	4	18			紙幣・硬貨回収はカセットにて混合一括回収できること。また、出金口から回収することもできること。	○
20	1	4	19			管理及び運搬時の負担を軽減する為、紙幣カセット、硬貨カセットは、それぞれ1個ずつ計2個であること。	○
20	1	4	20			貨幣装填、回収時（補充・一部回収・両替含む）は、操作履歴を明確する為、80mmサーマルプリンタから操作履歴が自動印字されること。	○
20	1	4	21			紙幣、硬貨共にカセット回収指示は、監視モニターから遠隔指示が可能であること。回収操作完了時に、監視モニターから完了アラームがなること。	○
20	1	4	22			貨幣回収方法として、当センターで任意に全額回収／売上金回収の選択ができること。	○
20	1	4	23			硬貨・紙幣つり銭を取忘れた際は、機器を休止して監視モニターへエラー警告を行い、取引履歴確認で取忘れた患者を特定ができること。	○
20	1	5				領収書、診療明細書の発行に関し、以下の要件を満たすこと。	
20	1	5	1			当センター指定の領収書、診療明細書が発行できること。	○
20	1	5	2			当センター指定の領収項目／レイアウトに対応でき、白紙用紙にフル印字（オーバーレイ）もしくはプレ印刷用紙（事前印刷用紙）の利用ができること。	○
20	1	5	3			領収書／診療明細書は、医事会計システムと同一フォーマットにて白紙普通用紙で発行できること。	○
20	1	5	4			レーザープリンターを内蔵し、領収書はA5サイズ、診療明細書はA4サイズの用紙にて出力できること。	○
20	1	5	5			レーザープリンターは「最大A4サイズ／1,000枚以上」の発行が可能なこと。	○
20	1	5	6			用紙の出力は背面出力方式であり、搬送距離を短くすることで、用紙詰まりを予防する構造であること。	○
20	1	5	7			領収書、診療明細書を複数枚発行する場合は、用紙抜き取りをしなくても次の用紙が印字されること。また、連続発行しても、患者はワンハンドで、まとめて一度に抜き取りできること。	○
20	1	5	8			用紙在庫の管理がしやすいように、印刷枚数日計表（自動精算機で印刷した領収書/診療明細書の枚数集計）を出力できること。	○
20	1	5	9			係員機能として、当日取引分の領収書を当センターが任意に選択して再発行できること。	○
20	1	5	10			医事会計システムの情報を元に診療明細書の出力可否を選択できる機能を有していること。	○
20	1	6				カード対応機能に関し、以下の要件を満たすこと。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20	1	6	1			接触ICクレジットカード及びデビットカード払いの対応ができること。	○
20	1	6	2			EMVバール1&2に準拠したICカード対応カードリーダー、PCI PTSに準拠したPINPADを搭載していること。	○
20	1	6	3			接触ICクレジットカード、デビットカード決済時の暗証番号入力用PINPADは同一ユニットであること。	○
20	1	6	4			日本クレジット協会が公布している『オートローディング診療費支払機のIC対応指針と診療費支払機の本人確認方法について』の代替対策案を基にICクレジット対応化におけるセキュリティ対策を実施していること。	○
20	1	6	5			日本クレジット協会が公布している『対面加盟店における非保持化と同等/相当のセキュリティ確保を可能とする措置に関する具体的な技術要件について』の端末に対するセキュリティ対策を実施していること。	○
20	1	6	6			操作性とカード取忘れ対策の為、オートローディング方式（自走式：カード自動取込み・自動排出）のカードリーダーを採用していること。	○
20	1	6	7			診察券、接触ICクレジットカード、キャッシュカードの挿入口は、同一カード挿入口で操作が行えること。	○
20	1	6	8			改正割賦販売法にて義務化された「クレジットカード情報の非保持化」に準拠するため、暗号化されていないクレジットカード情報（クレカ番号）を取得してしまうことを防ぐため、診察券挿入待ち時にクレジットカードが挿入された場合、カードリーダーで読み取ったクレジットカード情報を外部送信せず、かつ自動的に消去する機能を有すること。	○
20	1	6	9			当センターの契約内容に準じて、クレジットカードの支払い方法として、一括払い以外に分割払い・リボ・ボーナス払いに対応できること。	○
20	1	6	10			カード支払い時は支払い回数選択後、画面に「氏名・金額・支払い回数」を再表示し確認ボタンを押さないと決済が完了しないこと。また、選択内容を変更できること。	○
20	1	6	11			領収書・明細書とは別に、80mmサーマルプリンタからカード利用明細書、口座引落確認書の発行が行えること。また、領収書内に組込み印字することもできること。	○
20	1	6	12			クレジットカードの取消処理は決済をした機器本体で行えること。またカード取消控えは80mmサーマルプリンタから患者、医療機関にそれぞれ自動印字されること。	○
20	1	6	13			機器本体が複数台の場合でも、ルータ1台構成にてフレッツ光回線でカード対応ができること。	○
20	1	6	14			フレッツ光回線を使用する際は、IP-VPN閉域網サービスを利用できること。	○
20	1	6	15			カード決済対応時は外部ネットワークと院内ネットワークを分離して構築できること。	○
20	1	7				自動精算機用監視モニターに関し、以下の要件を満たすこと。	
20	1	7	1			監視モニターから自動精算機に以下の遠隔指示、監視ができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
20	1	7	2			・紙幣、硬貨の回収カセット金庫への回収指示	○
20	1	7	3			・現金専用対応／現金・カード併用対応／カード専用対応への切替指示及び取扱指示	○
20	1	7	4			・データ検索機能	○
20	1	7	5			・各精算機の機器状態表示機能	○
20	1	7	6			・エラー発生時のエラー詳細の表示機能	○
20	1	7	7			・エラー及び係員呼出ボタン押下時のエラー警告を特別な配線無しに発生できる機能	○
20	1	7	8			つり銭切れや領収書用紙切れの事前警告機能により、機器停止を未然に防ぐ機能があること。	○
20	1	7	9			日計表、カード日計表の帳票出力機能を有すること。また、CSV形式でファイル保存できること。	○
20	1	7	10			データ検索は、取引データを「90日以上」保持できること。またその間は、いつでも検索可能なこと。	○
20	1	7	11			監視モニターはノートPCとし、15インチ相当のカラー液晶画面であること。	○
20	1	8				その他として、以下の要件を満たすこと。	
20	1	8	1			2024年度上期中に発行予定の新紙幣に関して、読取対応機もしくは読取を約束した機器の納品を行うこと。	○
20	1	8	2			自動精算機に関わる消耗品（領収書、明細書用紙含む）は、自動精算機メーカーからの指定購入ではなく、当センターが選定した業者より一般的に購入ができること。また、自動精算機メーカーからの購入でなくてもメーカー保証にて対応すること。	○